

生 命 倫 理 3

【単位数:0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

川崎 優 講師(哲学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-4-b)

- ① コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「誠実, 正直の態度を意識して行動することができる」ようになるために, 臨床の場で医療従事者に求められる誠実, 正直の態度とは具体的にどのようなものか学ぶ。
- ② コンピテンスの「プロフェッショナリズム」における「4原則以外の倫理原則」の観点から具体的な事例について議論し, 自分の考えを論理的に説明できるようになるために, 功利主義や義務論をはじめとした代表的な倫理理論とその活用方法について学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
- ② 医療従事者に求められる態度として, 特に誠実と正直の態度について具体的に説明できる。
- ③ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
- ④ 4原則以外の観点から具体的な事例について議論できる。
- ⑤ 生命倫理の諸問題に関する実践的な知識を修得する。
- ⑥ 臨床の場において, どのような倫理的問題が生じているか具体的に説明できる。
- ⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えを論理的に説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で小レポートを数回課す。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は, 総合成績の10%を限度に減点をする。

出席: 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考えよう！生と死のこと―基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子， 寺田篤史， 脇 崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理 I〔改訂版〕	赤林 朗〔編〕	勁草書房	生命倫理の諸問題について、より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理〔改定三版〕	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが、専門問わずおすすめの内容。
患者の意思決定にどう関わるか？―ロジックの統合と実践のための技法	尾藤誠司	医学書院	臨床の場で直面しうる問題について、理論編と実践編に分けてわかりやすくまとめられている。

6 準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し，次回以降の講義に臨むこと（1コマあたり約1時間）。

7 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中にグループワークや講師との双方向性応答などのアクティブ・ラーニングも導入する。

（２） 講義の内容

生命倫理に関する発展的・実践的な内容について学ぶ。これまで学んだ基本的な原則を踏まえて，より複雑な倫理理論とその応用について学ぶ。具体的な事例の分析やロールプレイをとおして，より実践的な倫理的思考力を養う。